

# 中小企業景況調査報告書

令和4年 4 ~ 6月期 実績  
 令和4年 7 ~ 9月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和4年7月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

## 〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和4年4~6月期を対象とし、調査時点は令和4年6月1日とした。  
令和4年7~9月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市  
志布志市・大崎町・肝付町・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 210業  
製造業：44企業 建設業：30企業 小売業：59企業 サービス業：77企業

## 県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
3年 4月 ~ 6月期	 ▲20.9	 ▲10.4	 ▲28.3	 ▲37.7
3年 7月 ~ 9月期	 ▲18.9	 ▲13.3	 ▲38.3	 ▲39.0
3年 10月 ~ 12月期	 ▲14.7	 ▲6.7	 ▲30.0	 ▲26.6
4年 1月 ~ 3月期	 ▲24.3	 0.0	 ▲43.1	 ▲48.0
4年 4月 ~ 6月期	 ▲29.6	 ▲6.7	 ▲25.4	 ▲26.7
来期見通し(7~9月期)	 ▲9.3	 ▲3.5	 ▲23.7	 ▲19.5

## 総合(業況)

前年同期(令和3年4月~6月期)と比較した今期(令和4年4月~6月期)の業況は、製造業▲29.6(前年同期比8.7ポイント悪化)、建設業▲6.7(前年同期比3.7ポイント改善)、小売業▲25.4(前年同期比2.9ポイント改善)、サービス業▲26.7(前年同期比11.0ポイント改善)となった。今期については、オミクロン拡大の前月と比べると、建設業・小売業・サービス業については、若干の回復が見られ、県内の感染者は微減で少しずつ日常に戻りつつも、原油の高騰及び円安の影響で原材料の上昇に拍車がかかり4月から軒並み値上げラッシュとなり、中小企業も煽りを受けている。

また前期(令和4年1月~3月期)と比較すると、製造業5.3ポイント悪化・建設業6.7ポイント悪化・小売業17.7ポイント改善・サービス業21.3ポイント改善となった。

なお、来期(令和4年7月~9月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業20.3ポイント・建設業は3.2ポイント・小売業1.7ポイント・サービス業7.2ポイント改善となる。しかし、10月からの値上げラッシュを控えコスト・プッシュ・インフレーションが続くと思われ、さらには梅雨が短かった影響による農作物の不作の影響も懸念され、依然として厳しい状況にある。

# 業種別景気動向

## 【製造業】 有効回答数 44 企業

調査対象企業内訳：食料品(20)，飲料・飼料・たばこ(5)，一般機械器具(2)，家具・装備品(3)，木材・木製品(3)，プラスチック製品(1)，印刷・同関連(4)，金属製品(3) 窯業・土石製品(1)，その他(2)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年 4月～6月期		▲20.9		▲27.9		▲26.2		▲20.9
3年 7月～9月期		▲17.5		▲26.3		▲22.5		▲18.9
3年 10月～12月期		▲17.5		▲30.0		▲22.0		▲14.7
4年 1月～3月期		▲23.9		▲35.7		▲19.0		▲24.3
<b>4年 4月～6月期</b>		<b>▲20.4</b>		<b>▲37.2</b>		<b>▲9.1</b>		<b>▲29.6</b>
来期見通し(7～9月期)		13.7		▲18.6		▲4.5		▲9.3

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・円安やウクライナ情勢による先行きの見えない物価上昇が、光熱費や設備の部品代を高騰させている。加えて、小麦価格上昇が製品の利益率を下げている。(食料品製造業)
- ・イベント等の減少とペーパーレス化の加速。(印刷業)
- ・原油価格の高騰により電気料金的大幅な値上げで生産コストが急激に上昇している。また、原材料も軒並み値上げで値上げせざるを得ない。生産増で収益増したいが、従業員確保が難しい。(肉加工品製造業)

### 経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	50.0%	(前期比 +7.1)
第2位 生産設備の不足・老朽化	10.0%	(前期比 +10.0)
第3位 需要の停滞	7.5%	(前期比 -18.2)

## 【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(21)，職別工事業(6)，設備工事業(3)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
3年 4月～6月期		10.0		▲3.4		3.4		▲10.4
3年 7月～9月期		▲30.0		▲20.0		▲16.7		▲13.3
3年 10月～12月期		▲16.6		▲20.0		▲10.0		▲6.7
4年 1月～3月期		0.0		▲13.3		▲3.3		0.0
<b>4年 4月～6月期</b>		<b>▲6.7</b>		<b>▲16.7</b>		<b>▲3.3</b>		<b>▲6.7</b>
来期見通し(7～9月期)		6.7		▲20.0		▲3.4		▲3.5

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・働き方改革の推進で、公共工事一斉閉所等の決まりを遵守すると工事工程が長くなり、工事の段取りと完成売上計上が長引くことが、状況を悪化させる。
- ・ウクライナ情勢による燃料費高騰の影響で、生コン等の建設資材や運搬費等の値上げが頻発している。(一般土木工事業)
- ・元受業者が材料費の高騰で厳しい為、当事業所も厳しい。(大工工事業)

### 経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	60.0%	(前期比 +25.2)
第2位 官公需の停滞	16.0%	(前期比 -7.3)

## 【小売業】 有効回答数 59 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(24)，各種商品(4)，織物・衣服・身の回り品(6)，家具・建具(4)  
自動車・自転車小売業(1)，その他(20)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年 4月～6月期		▲25.0		▲25.0		▲21.6		▲28.3
3年 7月～9月期		▲44.0		▲38.4		▲22.8		▲38.3
3年 10月～12月期		▲33.4		▲30.5		▲20.3		▲30.0
4年 1月～3月期		▲48.3		▲43.3		▲27.6		▲43.1
<b>4年 4月～6月期</b>		<b>▲20.4</b>		<b>▲32.8</b>		<b>▲22.4</b>		<b>▲25.4</b>
来期見通し(7～9月期)		▲35.6		▲25.9		▲24.2		▲23.7

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・徐々に外出する方が増加してきたように感じる。これに比例して小物関係の売上に復調の兆しが見える。  
(化粧品小売業)
- ・ガソリン価格について、競合の価格を注視している。  
(ガソリンスタンド)
- ・宅配業務が主であるため、ガソリン代の高騰が経費増加になる。またメーカーからの仕入単価の値上げが7月より実施予定なので、その分を売価に転嫁できるのか、できないと経常利益は下がることになる。  
(牛乳小売業)

### 経営上の問題点

第1位 仕入単価の上昇	26.0%	(前期比 -0.5)
第2位 需要の停滞	12.0%	(前期比 -8.4)
第3位 購買力の他地域への流出	18.0%	(前期比 +3.7)

## 【サービス業】 有効回答数 77 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(19)，飲食店(24)，自動車整備業(11)，宿泊業(9)  
運送業(2)，その他(12)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
3年 4月～6月期		▲31.6		▲33.8		▲19.8		▲37.7
3年 7月～9月期		▲30.2		▲39.0		▲26.3		▲39.0
3年 10月～12月期		▲22.1		▲35.1		▲22.1		▲26.6
4年 1月～3月期		▲49.3		▲45.5		▲28.6		▲48.0
<b>4年 4月～6月期</b>		<b>▲15.6</b>		<b>▲37.7</b>		<b>▲17.1</b>		<b>▲26.7</b>
来期見通し(7～9月期)		2.6		▲29.9		▲6.5		▲19.5

### <調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・5月からの「ぐりぶクーポン」の効果でランチの客単価は上昇しているが、色々な物の値上げがあり、仕入単価も上昇している状態。「ぐりぶ」の効果が半減している。  
(食堂・レストラン)
- ・コロナ・戦争などの影響で価格高騰が止まらない。大型車の運賃の値上げが無い為、物流コスト削減でタイヤの需要停滞及び仕入れアップでお手上げ。使用済タイヤの廃棄料も値上げなのでどうしようもない。  
(自動車整備業)
- ・コロナ禍と石油や物価の高騰で利用者のニーズの変化が続き、売上の増加が期待できない。  
(クリーニング業)

### 経営上の問題点

第1位 材料等仕入単価の上昇	27.5%	(前期比 +16.6)
第2位 需要の供給	18.8%	(前期比 -14.0)
第3位 従業員の確保難	8.7%	(前期比 +4.0)

# 全 産 業【鹿児島県】

2022年4月期～6月期

	今期（前年同期比）					来期（対前年同期比来期見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	210	24.3	34.8	41.0	-16.7	210	22.4	50.0	27.6	-5.2
売上（加工）単価・客単価	180	13.3	62.8	23.9	-10.6	180	14.4	64.4	21.1	-6.7
売上（加工）数量	43	18.6	39.5	41.9	-23.3	43	25.6	53.5	20.9	4.7
客数	59	16.9	32.2	50.8	-33.9	59	6.8	57.6	35.6	-28.8
利用客数	76	14.5	43.4	42.1	-27.6	77	20.8	50.6	28.6	-7.8
資金繰り	208	5.8	73.6	20.7	-14.9	209	7.7	74.2	18.2	-10.5
輸出入額	18	5.6	77.8	16.7	-11.1	18	5.6	88.9	5.6	0.0
受注（新規契約工事）額	30	23.3	43.3	33.3	-10.0	30	20.0	60.0	20.0	0.0
原材料・商品等仕入れ単価	209	70.3	26.3	3.3	67.0	209	56.0	39.2	4.8	51.2
原材料在庫数量	44	4.5	81.8	13.6	-9.1	44	4.5	81.8	13.6	-9.1
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	59	40.7	35.6	23.7	16.9	59	32.2	44.1	23.7	8.5
商品・商品在庫数量	103	8.7	71.8	19.4	-10.7	103	6.8	75.7	17.5	-10.7
採算（経常利益）	208	6.7	53.4	39.9	-33.2	208	7.2	60.6	32.2	-25.0
従業員（含臨時・パート）	195	4.6	85.1	10.3	-5.6	195	5.1	71.8	7.7	-2.6
外部人材（請負・派遣）	128	3.9	90.6	5.5	-1.6	130	3.1	86.9	10.0	-6.9
設備操業率	44	4.5	70.5	25.0	-20.5	44	6.8	79.5	13.6	-6.8
引合	73	9.6	74.0	16.4	-6.8					0.0
受注・契約残	73	4.1	74.0	21.9	-17.8					0.0
業況（自社）	208	10.1	55.8	34.1	-24.0	208	10.1	63.5	26.4	-16.3

	今期（前期比）					来期（対当期比見通し）				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	208	29.3	39.9	30.8	-1.4					
売上（加工）単価・客単価	179	12.3	71.5	16.2	-3.9					
売上（加工）数量	42	21.4	50.0	28.6	-7.1					
客数	59	20.3	47.5	32.2	-11.9					
利用客数	76	22.4	43.4	34.2	-11.8					
資金繰り	206	4.9	76.7	18.4	-13.6					
業況（自社）	204	14.7	60.8	24.5	-9.8	208	14.4	68.3	17.3	-2.9
受取手形期間	40	5.0	95.0	0.0	5.0	41	4.9	95.1	0.0	4.9
長期資金借入難度	174	5.2	87.4	7.5	-2.3	174	4.6	90.2	5.2	-0.6
短期資金借入難度（含手形割	159	5.0	88.1	6.9	-1.9	159	5.0	89.9	5.0	0.0
借入金利	177	3.4	93.8	2.8	0.6	177	3.4	95.5	1.1	2.3

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況（自社）	210	4.8	55.7	39.5	-34.8
生産に対する原材料在庫	44	0.0	93.2	6.8	-6.8
売上に対する製品在庫	103	6.8	86.4	6.8	0.0
採算（経常利益）	210	16.7	64.8	18.6	-1.9
引き合	74	5.4	67.6	27.0	-21.6
生産設備	44	0.0	79.5	20.5	-20.5
従業員（含臨時・パート）	195	1.5	82.6	15.9	-14.4